

学年・学級経営年間プログラムについて

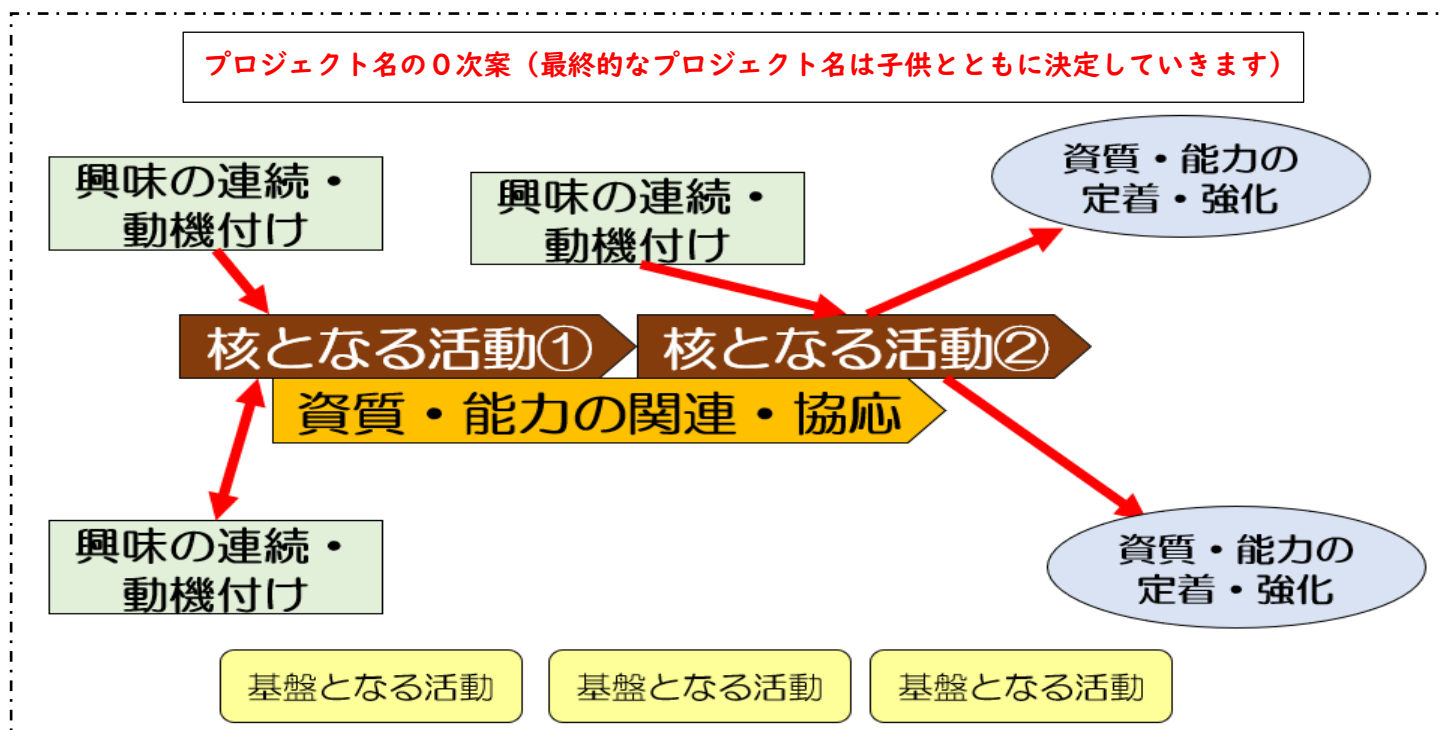
(1) 学年・学級経営年間プログラムとは

学年・学級経営年間プログラム（以下：年プロ）とは、「学年・学級経営の視点」や「学年で目指すリーダーシップ（Ls）とフォロワーシップ（Fs）の姿」を明確にし、効果的に資質・能力を育むために活用される資料のことです。北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程（以下：本校）では、学年・学級経営案として活用し、学習活動を行っています。

年プロでは、期ごとに関連の深い学習をまとめ、1つのプロジェクトとして位置づけており、年間で様々なプロジェクト活動を進めています。これらのプロジェクトを、子供たちや保護者とともに共有を図りながら教育活動を進め、振り返りの充実を図ることで、子供にとっては自身の高まりを、そして、保護者にとっても子供たちの良さや成長を感じられるという成果が、これまでの本校の実践から挙げられています。

(3) 学級・学年年間プログラムの見方

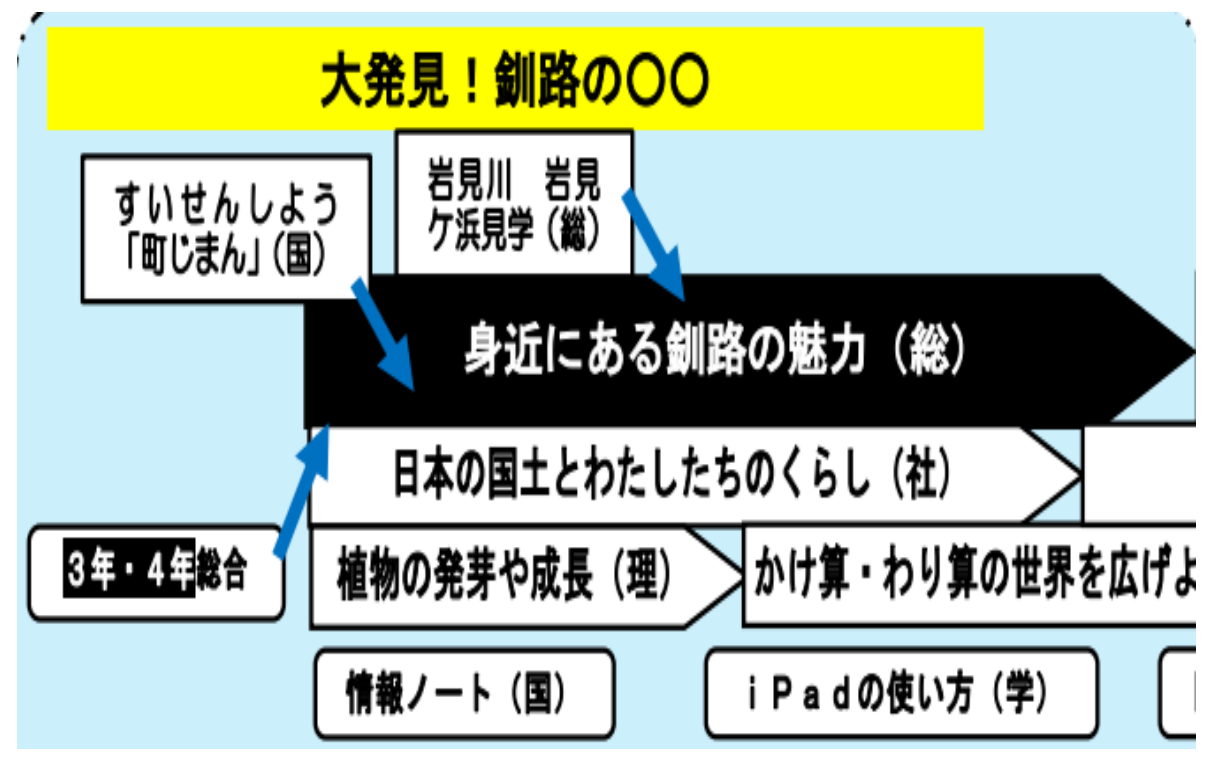
以下の点を基本として、年プロを作成しています。



(3) 学級・学年年間プログラムの運用

実際の年プロのプロジェクトを例に、学習展開を説明します。

※令和6年度第5学年 年プロより



①国語科「すいせんしょう『町じまん』」にて、自分たちの地元である釧路の「じまん」は何かあるかを考える（今後に向けた動機づけ）。



釧路湿原など、色々な自慢が釧路にあるよね。



釧路の自慢って何だろう？調べてみたい！

②5年生で行う総合的な学習の時間の学習内容を知る。



自分たちで、何か一つテーマを決めて、釧路の自慢を詳しく調べていきたいな。

③プロジェクト名を考える。



釧路のことをいっぱい調べて、釧路をもっと好きになりたいな。



他の人にももっと釧路を好きになってもらいたいな。「釧路の自慢を他の人に発信しようプロジェクト」っていうのはどう？

上記のように、プロジェクトを子供たちとともに発足させることができます。プロジェクトを発足させる際には、「プロジェクト達成に向けてどのような力が大切になるか」を教師と子供とで確認していくことで、教師にとっても子供にとっても、「このプロジェクトで身に付ける資質・能力」を意識しながら学習を展開することができるようになります。

プロジェクト終了後には、振り返りの時間を設けます。子供たちは、「プロジェクト達成に向けて頑張ったことは何か」「このプロジェクトを通して身に付けた力は何か」などについて振り返ることで、自身の高まりを感じることができます。また、子供たち一人一人の振り返りを保護者にも共有します。そうすることで、子供たちの頑張りや成長を保護者も感じることができ、保護者から子供へのフィードバックも期待できます。

各学年の年プロをぜひご覧いただき、活用できるところはぜひ活用していただければ幸いです。